

スギ薬局とキリンビバレッジが協同し、埼玉県内の「スギ薬局」6店舗で ペットボトルの「ボトル to ボトル」水平リサイクルを開始

株式会社スギ薬局（代表取締役社長 杉浦克典 以下、スギ薬局）は、キリンビバレッジ株式会社（代表取締役社長 吉村透留 以下、キリンビバレッジ）と協同し、3月から順次、埼玉県内のドラッグストア「スギ薬局」6店舗で、使用済みペットボトルを回収してペットボトルに再生する「ボトル to ボトル」水平リサイクルを開始します。

1. 実施の背景

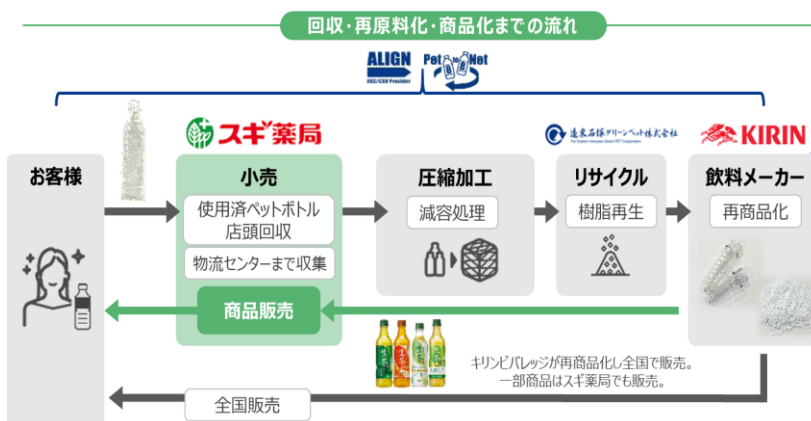
日本では、ペットボトルの水平リサイクル実施割合は20.3%※と低いことに加え、一度ペットボトル以外のPET製品に再生されたものを、ペットボトルに再生することは技術的に困難です。また、水平リサイクルに適した良質な使用済みペットボトルを安定的に確保することが喫緊の課題となっています。

スギ薬局グループは、サステナビリティ経営推進のため、2021年度に重要課題（マテリアリティ）を設定しました。その中の一として「循環型社会の実現」を目指し、ペットボトル飲料を販売している企業の責任として、水平リサイクルの取り組みを強化しています。

※PETボトルリサイクル推進協議会「PETボトルリサイクル年次報告書2022」

2. 取り組み概要

本取り組みでは、「スギ薬局」店舗に新たにリサイクルボックスを設置し、ラベルとキャップを剥がし洗浄した状態の良質な使用済みペットボトルを回収することを目指します。店頭で回収した使用済みペットボトルは、「スギ薬局」店舗に商品を配送した帰りの便のトラックで店舗から「スギ薬局」物流センターまで運搬します。その後、圧縮加工を行う会社が減容処理を行った後、リサイクラーである遠東石塚グリーンペット株式会社（代表取締役社長 安田真一）にて樹脂再生を行います。その後、飲料メーカーのキリンビバレッジが再生PETを使用した容器の飲料の製造を行います。なお、これら一連のペットボトル回収は、株式会社アライン（代表取締役社長 遠藤正浩）のオンラインシステムによって、リサイクラーへの搬入量がリアルタイムに可視化されます。



啓発ポスター（イメージ）

スギ薬局グループは、環境と社会の様々な課題に真摯に向き合い、企業活動を通して、健康で元気な人を増やし、活力ある社会を実現するため、ステークホルダーの皆様と協働し、「地域社会」の持続可能な発展に貢献する企業を目指し

ます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社スギ薬局 広報室

〒474-0011 愛知県大府市横根町新江 62 番地の1

TEL : 0562-45-2701 (代表) 受付時間 平日 9:00~18:00